

<先週の説教から>

『ルカ ⑩ — 異邦人を照らす啓示の光』

武田真治牧師

イザヤ 56:6~8 ルカ福音書 2:28-38

今日の聖書の箇所にある『シメオンの歌』は、代々の教会で《ヌク・ディミティス》(=今や去り行く)という名前で、クリスマス時だけでなく、晩禱(=夜、眠る前に祈る祈り)や聖餐式(=特に式の最後にある「派遣」の言葉として)でも用いられて来ました。それは『主よ、今こそあなたは、お言葉どおり、この僕を安らかに去らせてください。わたしはこの目であなたの救いを見たからです。』という言葉からです。

ただ、このシメオンの歌は、それだけでなく、むしろ次の31~32節も素晴らしいイエス様への《預言の言葉》としても有名です。即ち『これは万民のために整えてくださった救いで、異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの誉れです』。今まで旧約聖書では、イスラエルの民やユダヤ人だけが救われるという在り方が主流であり、故に、その民族に連なる“割礼”が強調されて来ました。確かに一方では、旧約聖書でも異邦人の救いについて触れられていないわけではありません。今日のもう一つの聖書、イザヤ書56章には「主のもとに集って来た異邦人が、主に仕え、その僕となり、安息日を守り、わたしの契約を固く守るなら、わたしは彼らを聖なるわたしの山に導き、喜びの祝いに連なることを許す。」とされています。ただ、これも異邦人がユダヤ人になることによって救いに入れられるというものであり、異邦人がそのまま救われるという福音は実は旧約聖書には存在しなかったのです。それなのに、ユダヤ教の信仰に生涯を掛けて生き抜いて来て、それ故に、メシアに会うまでは決して死なないと神様から告げられていたシメオンが“異邦人への救い”をここで語っているのです。当時の彼の周辺にあった救いについての考え方ははるかに越える“福音”について語っているのです。まさにイエス様の到来・誕生が、一方では「イスラエルの誉」と言いながらも、それよりも先に「万民」のため、特に異邦人に対する「啓示(=今まで隠されていたものを明らかにする)の光」なのだ。故に、ここを後からの付加だと平気で言われる解説者もいるほどに。しかし、これこそ“イエス様との出会い”の意味を指し示しているのではないのでしょうか。彼は「幼子(=イエス様)を腕

に抱き」これらの言葉を語り出したのでした。そして、これらの言葉は申しましたように、これからイエス様が人々に明らかにされて行かれる“救い”の内容をあらかじめ“預言”している言葉です。彼はイエス様と出会うことにより《預言者》とされたのだと言い得ます。聖書はこの点を「シメオンは“霊”に導かれて」と記しています。聖霊が彼の上に降ったのでした。

この後、シメオンはマリアに対しても『あなた自身も剣で心を刺し貫かれます』と言っています。これもこれから起こる出来事の預言です。彼はこの時、かなり高齢であったと考えられています。しかし、その彼がイエス様と出会うことによって《預言者》として変えられ、用いられていったことは、私たちにとっての希望ではないでしょうか。“新しくされること、新しい務めが与えられること”には、年齢は関係しないのです!

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 7月31日(水)20:00
II. 8月1日(木)10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: 平和聖日を覚えて
担当者: (水)三箇 (木)丸茂
祈りに覚える人: 岩佐さん 上松さん

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女47 計67
祈祷会 I. 男6 女3 計9 II. 男1 女8 計9
日曜学校 幼稚科5 小中科10 計15
ひつじ雲の会(7月23日(火)) 男0 女4 計4

【次週主日礼拝】

8月4日(日)
聖書: サムエル記上 1:21~2:11
ルカによる福音書 2:34~38
説教: 「平和聖日・ルカ⑩ — 主にあって私の心は喜び」 武田真治 牧師
讃美歌: 499(1)、32、561、294、432、78(1~2)、27(1)

【次週当番表】

司式: 茨木長老 奏楽: 須田 礼拝: 保坂長老
配餐: 羽倉、保坂、飯田、岩佐 各長老
献金: 杉村 鈴木 受付: 西尾 森本
会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田
看板: 保坂 週報: 岩佐 お花:

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・8月誕生者祝福 ・お茶の会 ・牧師と語る会
・長老会 ・会堂管理委員会

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

よう

2024年 7月 28日

日本キリスト教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33
TEL&FAX 048-771-6549
<http://www.ageo-church.org/>